

野菜の需給・価格動向レポート(平成22年2月9日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	1月の価格動向				2月の見通し				
	(参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価額	上旬	中旬	下旬	卸の見通し (関東、東京青果株)			
葉 茎 菜	キャベツ	88.05	78	94	103	・入荷見込量：13,672t (95) ・主産地：愛知 (62)、千葉 (23)、神奈川 (12)	神奈川県では、降水量が少なく寒波の影響により今後も急激な回復は見込めない。全体では前年を下回る見込み。 ・主産地は愛知、千葉、神奈川。 だいごんの収穫遅れにより春キャベツの定植作業が停滞済み	今年は愛知が台風の影響で伸びを欠いてくる。千葉も干ばつで昨年のように多くなく、価格は平年並みにしっかりした展開を予想。入荷は前年を下回り価格は前年を上回る見込み。	
		79.74	70	86	97	・入荷見込量：3,400t (95) ・主産地：愛知 (49)、大阪 (16)、兵庫 (12)、和歌山 (12)、			
	ねぎ (関東：白ねぎ、 関西：青ねぎ)	229.99	299	253	237	・入荷見込数量：5,022t (103) ・主産地：千葉 (41)、埼玉 (29)、茨城 (12)、群馬 (7)	埼玉県では、全般的に病虫害の発生は少なく、軟白部の肥大は良い。平年並みの出荷を見込む。 ・主産地は千葉、埼玉、茨城。	2月に入り遅れていた千葉が本格化するが、今年は量的に前年を下回り、価格は平年より若干高い見込み。	
		450.51	458	388	366	・入荷見込数量：250t (99) ・主産地：徳島 (34)、大阪 (18)、高知 (13)、香川 (12)、奈良 (7)			
	はくさい	64.34	32	34	36	・入荷見込量：12,133t (105) ・主産地：茨城 (59)、群馬 (22)、兵庫 (13)	群馬県では、肥大順調で作柄は良好。出荷量は多かった前年並みの見込み。 ・主産地は茨城、群馬。	2月に入り量的に終盤を迎えて、次作の前進もなく、平年並みの展開が予想される。入荷及び価格ともに前年並を見込む。	
		76.33	52	55	56	・入荷見込量：3,600t (95) ・主産地：愛知 (42)、兵庫 (15)、宮崎 (13)、長崎 (6)、熊本 (6)			
	ほうれんそう	307.66	569	489	500	・入荷見込量：1,914t (101) ・主産地：埼玉 (26)、群馬 (23)、千葉 (21)、茨城 (21)	埼玉県では、気温の低下に伴い、生育が遅れ気味であるが、病害虫の影響もない。出荷量は平年並みを見込む。 ・主産地は群馬、埼玉。	干ばつと低温で成育に時間がかかった。そのため入荷は前年を下回り、価格は前年を上回るが平年を下回る見込み。	
		341.25	591	543	503	・入荷見込量：520t (74) ・主産地：徳島 (64)、福岡 (20)			
	レタス	259.83	256	264	273	・入荷見込量：7,466t (95) ・主産地：静岡 (35)、香川 (16)、兵庫 (8)、熊本 (7)、千葉 (6)、福岡 (5)	主産地は静岡県。サイズは2LよりL中心で出荷ペースは例年の9割程度。ただし、Mサイズが多くなることはない見込み。 ・主産地は静岡、香川。	今年は小振りで量的に伸び悩み、入荷は前年を下回るが価格は平年並みの見込み。	
		238.68	239	244	256	・入荷見込量：960t (75) ・主産地：兵庫 (54)、徳島 (20)、香川 (15)			
	たまねぎ	76.15	118	122	130	・入荷見込量：8,207t (87) ・主産地：北海道 (88)	主産地は北海道。出荷量は前年を1割強下回るペース。サイズはL、L大中心で品質は良好。貯蔵量は例年に比べ少ない。	北海道産が不作で少なく、引き続き品薄感強い。静岡の新品は平年作だが、全体の価格は上げ気配。入荷量は前年を下回り価格は4月頃まで高値基調の見込み。	
			133	131	131	・入荷見込量：2,200t (59) ・主産地：北海道 (64)、兵庫 (22)			
果 菜	きゅうり	370.98	300	348	353	・入荷見込量：5,109t (103) ・主産地：宮崎 (24)、千葉 (22)、高知 (16)、群馬 (13)、茨城 (11)、埼玉 (7)	群馬県では、定植時期及び作柄は前年並み。2月の気温はやや高く降水量も多い予報から、順調な生育を見込み出荷量は不作で少なかった前年をやや上回る見込み。 ・主産地は宮崎、千葉。	晴天が続いており量的な減少は少なく、平年並みを予想。価格も平年並みを見込む。	
		350.33	264	322	339	・入荷見込量：1,050t (104) ・主産地：宮崎 (42)、徳島 (22)、高知 (22)、愛媛 (8)			
	トマト	332.60	320	399	445	・入荷見込量：4,975t (100) ・主産地：熊本 (53)、栃木 (13)、愛知 (13)、千葉 (5)、群馬 (5)、宮崎 (5)	栃木県では、促成長期どり作型は4~6段を収穫中。厳寒期と着果負担から小玉果傾向となり、成育・果実肥大とも平年並み。長期とりを中心に灰色かび病の発生が各地で散見され、一部で疫病の発生が見られる。 ・主産地は熊本、愛知、千葉。	12月の天候不順で今後、量的に減少する懸念があるが、1月後半から作型の変わり目となるが、極端な減少は無いと予想。入荷量及び価格ともに平年並み。	
		311.06	329	367	410	・入荷見込量：820t (110) ・主産地：熊本 (47)、福岡 (17) 愛知 (15)、徳島 (5)			
	なす	389.03	282	396	438	・入荷見込量：2,110t (94) ・主産地：高知 (56)、福岡 (20)、佐賀 (5)	主産地は高知県。成育は順調で徐々に出荷量も増加する。寒波の影響はほとんど無く量的には前年並みの見込み。 ・主産地は高知県	長なすの不作から量的には前年を下回り価格は平年より高い見込み。	
		397.74	299	389	434	・入荷見込量：380t (101) ・主産地：高知 (28)、熊本 (21)、福岡 (20)、岡山 (15)			
	ピーマン	501.13	487	694	679	・入荷見込量：1,200 (104) ・主産地：宮崎 (39)、茨城 (25)、高知 (21)、鹿児島 (12)	茨城県では、品質・肥大状況ともに良好。病害虫の発生は散見されるが、生育への影響及び果実への被害は少ない。前年に比べ作付面積が増加したが出荷量は平年並みからやや多い見込み。 ・主産地は茨城、宮崎。	産地は年末から好天で推移しており前年並みの入荷、価格は平年より高い見込み。	
		467.19	460	672	655	・入荷見込量：240 (99) ・主産地：宮崎 (57)、高知 (21)、鹿児島 (15)			
	根 菜	だいごん	83.19	80	74	78	・入荷見込量：11,869t (98) ・主産地：神奈川 (63)、千葉 (30)	神奈川県は、降雨量が少なく、寒波の影響によりサイズは2Lが減少しLサイズ中心となる。出荷量は前年を下回る見込み。 ・主産地は神奈川、千葉。	年明け後肥大が悪く、1月いっぱい雨が降らないとすると全国的な供給不足も懸念される。入荷は前年を下回り価格は平年比で安い見込み。
			80.70	75	68	68	・入荷見込量：3,300t (100) ・主産地：徳島 (33)、長崎 (31)、和歌山 (20)		
		にんじん	96.24	78	72	70	・入荷見込量：7,060 (102) ・主産地：千葉 (71)、埼玉 (12)、茨城 (9)	主産地は千葉県。12月までの生産量は平年並みかやや多い1~3月もほぼ同様のペースが予想される。 ・主産地は関東。	今年は千葉を中心に順調で量的に昨年を上回り価格は平年を下回る見込み。
			104.73	93	82	87	・入荷見込量：1,950 (94) ・主産地：鹿児島 (50)、長崎 (19)、愛知 (17)、鳥取 (9)		

種類	1月の価格動向				2月の見通し	
	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額					
	(参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格	上旬	中旬	下旬	主産地の概況	
		い	217.95	222		217
も	219.65	237	206	175	—	
	ばれいしょ	88.17	133	132	131	・入荷見込量：7,895t (99) ・主産地：北海道 (67)、長崎 (19)、長崎 (13) 主産地は北海道。サイズはLサイズ中心で2L以上の大玉果は少ないが、前年よりもキズ果が少なく、品質は良い。
		121	122	119	・入荷見込量：3,600t (89) ・主産地：北海道 (57)、鹿児島 (22)、長崎 (17)	

卸の見通し (関東、東京青果株)
産地の在庫は少なく、価格は豊作だった昨年を上回る見込み。

1) 平均価格は、過去9年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)。
2) 旬別平均販売価額の背景なしは保証基準額を上回るもの。背景ありは下回るもの(消費税は除く)。
3) 単位は円/kg

1) 入荷見込量は関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。()内は前年対比。
2) 主産地は東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。
3) コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人等からの聴取りをもとに機構が作成したものである。

1) 「卸の見通し」の内容は、東京青果株式会社「野菜展望」をもとに機構が編集したものである。
2) その後の気象条件の変化等により変動があり得る。

2 野菜の需要動向

家計調査でみると、12月の1人当たりの生鮮野菜の購入量は、5,213g、対前年比101%となっている。購入金額については、1,751円、対前年比94%となっている。
また、小売物価統計によると、12月のキャベツの小売価格は過去5年平均比60%、レタスは同84%となっている。

1 生鮮野菜の購入量及び金額

年	過去5年平均		平成20年		平成21年		平成22年1月	
	購入量 (g)	金額 (円)	購入量 (g)	金額 (円)	購入量 (g)	前年比	金額 (円)	前年比
1月	4,057	1,511	4,341	1,479	4,277	99	1,548	105
2月	4,272	1,566	4,471	1,582	4,536	101	1,529	97
3月	4,610	1,693	4,763	1,735	4,799	101	1,685	97
4月	4,757	1,768	4,896	1,786	4,783	98	1,805	101
5月	5,097	1,861	5,020	1,876	5,216	104	1,918	102
6月	4,977	1,861	5,026	1,879	5,180	103	1,888	100
7月	4,404	1,672	4,447	1,674	4,645	104	1,648	98
8月	4,225	1,630	4,393	1,620	4,321	98	1,752	108
9月	4,837	1,775	4,935	1,763	5,141	104	1,828	104
10月	5,205	1,838	5,437	1,830	5,691	105	1,767	97
11月	4,866	1,608	5,036	1,601	5,307	105	1,560	97
12月	5,097	1,810	5,145	1,869	5,213	101	1,751	94

資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯農林漁家世帯を除く)」

2 主要野菜の月別小売価格(東京都区部)の推移

月	キャベツ			レタス		
	過去5年平均	平成21年	5年平均比 (%)	過去5年平均	平成21年	5年平均比 (%)
1月	199	197	99	612	629	103
2月	192	179	93	535	449	84
3月	194	176	91	484	452	93
4月	225	233	104	437	460	105
5月	177	205	116	372	384	103
6月	161	145	90	360	324	90
7月	158	136	86	331	310	94
8月	157	159	101	416	523	126
9月	146	181	124	483	449	93
10月	166	127	76	539	279	52
11月	175	110	63	492	284	58
12月	171	103	60	512	426	83

注1：過去5カ年は平成16～20年

資料：総務省統計局「小売物価統計調査報告」

3 野菜の輸入動向

中国からの野菜の輸入量は、平成20年には114万トンとであったものが、21年では対前年比97%の110万トンとなっている。
1月については、植物防疫検査統計によると、たまねぎについては前年同月比122%、にんじん同53%、ねぎ同131%となっている。

野菜等の輸入数量の推移について

区分	平成20年		平成21年		平成22年1月	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比
生鮮野菜	602,733	75	615,271	102	46,704	123
加工野菜	1,660,663	98	1,569,627	95	130,692	100
野菜輸入量合計	2,263,395	90	2,184,898	97	177,396	105
うち中国産野菜	1,147,126	87	1,098,415	96	94,772	104
中国産シェア	51		50		53	

資料：財務省「貿易統計」

主な野菜の輸入動向

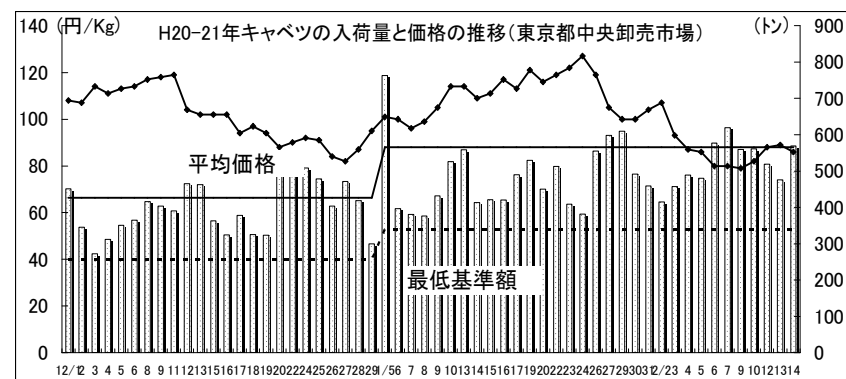
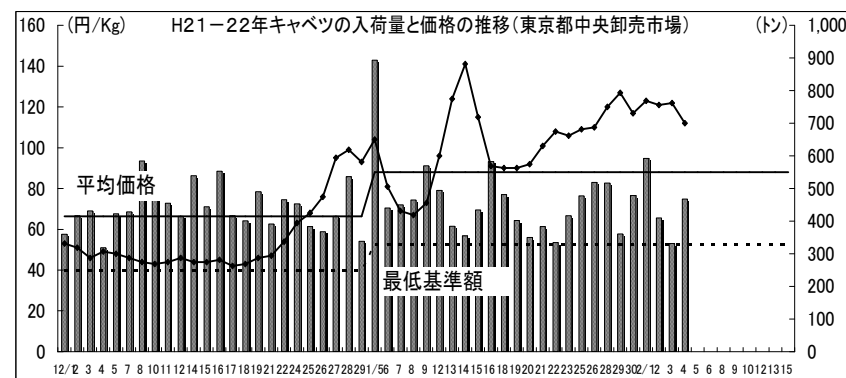
品目	輸入先	(単位：トン、%)		
		(A) 2009.1	(B) 2010.1	(B)/(A)
たまねぎ	合計	13,327	23,776	178.4
	中国	11,553	14,085	121.9
	米国	1,748	9,405	538
にんじん	合計	2,054	1,087	52.9
	中国	1,963	1,036	52.8
	豪州	61	24	39.3
ねぎ	合計	2,613	3,434	131.4
	中国	2,611	3,432	131.4

資料：農林水産省「植物防疫検査統計」(2010.1は2月第1週現在で速報値である。)

4 トピック

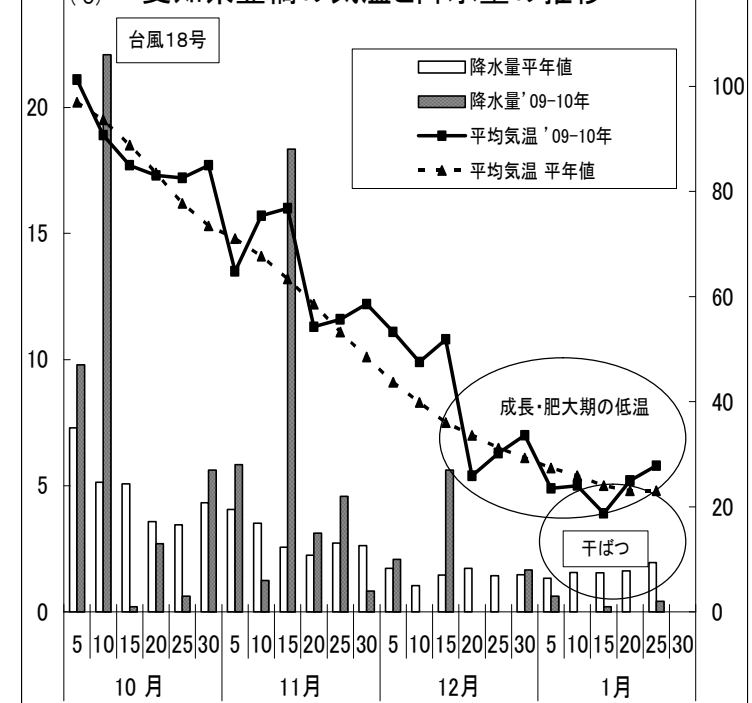
最近のキャベツ需給について

平成22年1月中旬(25日まで)の東京都中央卸売市場のキャベツは入荷量の減少から平均価格を上回って堅調に推移している。
主な要因としては、主産地である愛知県や千葉県において、生育初期の台風18号の影響や生育・肥大期の低温、干ばつの影響により、1月に入り本格化する出荷が停滞していることが考えられる。



資料：農林水産省「青果物日別取扱高統計結果」

愛知県豊橋の気温と降水量の推移



資料：ペジ探

